

平成 29 年度 ウンカ情報 第 4 号

平成 29 年 8 月 4 日
島根県病害虫防除所

……8月上旬の巡回調査でトビイロウンカを確認しました……

★トビイロウンカ

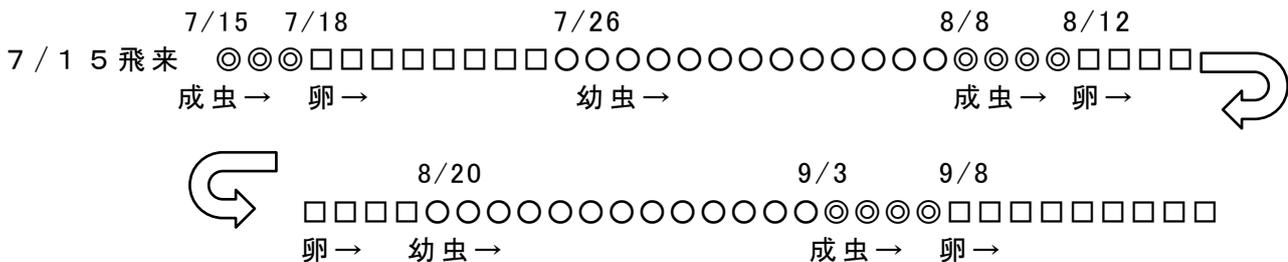


8月上旬の巡回調査において、イネ株払い落とし調査でトビイロウンカの幼虫 0.04 頭/50 株(平年 0.13 頭)を確認しました。今年のほ場調査では初めての捕獲です。発生量は平年並みです。

7月15~17日にかけて、出雲市粘着誘殺灯、空中ネットでセジロウンカが複数頭誘殺されており、この時期に同時に飛来した世代の幼虫と思われます。

～トビイロウンカ発生予測パターン～

平年値を用いた有効積算温度計算から7月15日飛来群の発生予測パターンを作成しました(JPP-NET病害虫発生予測システム)。発生消長把握の参考としてください。



注)気温が平年と大きく異なった場合は、本予測パターンと異なることがあります。

★セジロウンカ



5月23、24日に益田市の予察灯でセジロウンカの県内初飛来を確認後、7月5日に、出雲市の粘着板、空中ネットでセジロウンカの飛来を確認しました。

また、8月上旬の巡回調査において、イネ株払い落とし調査ではセジロウンカ成幼虫 4.0 頭/50 株(平年 30.5 頭)と、発生量は平年と比べやや少ないながら、県内全域で発生しています。

★コブノメイガ



8月上旬の巡回調査で被害株を確認しました。県内ほ場において、発生ほ場率は 2.3%(平年 18.9%)、被害株率は 0.1%(平年 3.6%)と発生量は平年並みです。